

生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター

施設名/足立区保塚地域学習センター・図書館

【評価対象年度】令和6年度 【自己評価】令和7年4月1日 【評価委員会】令和7年8月18日
【評価点】水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管理 状況	A 適切な 管理の履 行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×2)		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員会	
		1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	20.0 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置 など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み(意識、接遇の向上) ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施 など	5.0 (×2)	4.0 (×2)	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】人材育成の一環として地域の方々とスタッフがともに学べる機会となる開放型スタッフ研修を実施。施設スタッフがどのような考えや心構えでセンターに従事しているかを知っていただくとともに、地域の方のセンターに対する印象や普段気づくことのできなかった生の声を獲得するなど、今後の接遇に直接生かせる場とすることができた。このように常に利用者目線に立った接遇を心掛けるとともに、スタッフ一人一人が正確性・効率性を図りまごころある接客を行うことで、クレームや利用者の方に不利益となる業務ミスを一切発生させることなく、質の高いサービス提供へと繋がった。			
			【改善すべき点・課題等】現場と本社が一体となった人材育成に今後も積極的に取り組むとともに、適正な人員体制のもと受付業務スキルの向上を常に図るとともに、相手の心情を汲み取るヒアリングを大切にすることでトラブルの未然防止に繋げ、良好な施設及び講座運営としていきたい。			
		区分記入欄	【特記事項】項目3について、「アンガーマネジメント」をテーマに施設利用者と職員が同時に受講する開放型研修を実施した。利用者と共に研修を行うというのは新しい取り組みであり、新たな視点やアイデアを得られたと考えられるが、成果が出ているまでは言えないため、水準点に1点のみ加点する。継続的な実施により、成果を得られることを期待する。			
評価委員会記入欄	【評価すべき点】図書館において、事業により館内がにぎやかになりそうなときに事前に館内放送で告知するなど、配慮している点は評価できる。また、利用者とともに行う開放型研修は、ユニークな試みで面白い。 【改善すべき点】 【その他注意点】開放型研修の有効な結果については時間が必要であると考える。					

B 安全性 の 確保	施設の安全性は確保されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員会
	1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	5.0	4.0	17.0 (満点20点)
	2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3.0	3.0	
	3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	5.0	5.0	
	4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など	5.0	5.0	
	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】日々の館内美化や点検に加えて、専門業者による特別清掃を実施するとともに、記録帳を作成し情報を共有・見返しができる体制を整えた。定期的な施設保全を行うことで施設・設備の長寿命化に繋がった。さらには、フリースペース（ロビー）の空調機が暖房時期に不具合となり、人の滞留には適さない環境となってしまうことから、暖房機器を購入し、設置することで利用者の方が安全で気持ちよく利用していただける環境を整えることができた。また、災害時に備え、非常時に必要となる具体的な役割を記した行動指標カード＝「タスクカード」を作成。非常勤スタッフなど災害対応に不慣れな場合でも、カードに示した内容に沿って行動することが防災活動となる仕組みとすることで各施設の連携や役割分担の確認をより深め、災害時の際に的確かつ迅速な行動がとれる体制の構築を図ることができた。			
	区 記入欄	【改善すべき点・課題等】こまめな植栽剪定や植木の手入れ（枯らせない処置）及び備品清掃を館内外で実施し環境保全に努めるとともに、設備の保守点検等に加えてスタッフによる施設点検を定期的に実施することで施設の異変や危険に素早く察知できるよう、予防保全に力を入れていきたい。また、通常の火災・地震の避難訓練に加えて、水害を想定した垂直避難訓練を複合館合同で実施するなど、今後もセンター一体で有事に備えた実践的な準備・訓練を行い、危機管理体制を整えていきたい。			
	評 価 委 員 会 記入欄	【特記事項】項目1について、構造上、水溜まりがしやすい中庭のマス清掃をこまめに実施した。仕様書の範囲内であるが、水を溜めることがなかったという点から適切に対処したとして、水準点に1点加点する。項目3について、空調機故障の際、暖房機器を早期に設置しフリースペースの利便性を維持した点で水準点に2点加点する。項目4について、区民と共に防災訓練を実施し、またシフト勤務に合わせ、「タスクカード」を作成した。具体的な役割や行動指標を記した「タスクカード」は実際の災害時にも役立つものと考えられるため、水準点に2点加点とする。			
		【評価すべき点】メンテナンス清掃および備品の点検表を作成し、十分な対応がなされている。危機管理訓練においては、日ごろからのイメージトレーニングが大変重要になることから、タスクカードの作成など訓練内容に工夫が見られ高く評価できる。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
C 法令等 の 遵守 (※倫理 性も含 む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	3.0	3.0	9.0 (満点15点)
	2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0	
	指定 管理者 記入欄	【アピールポイント】現場と本社が一体となった取り組みと、全スタッフが日々の業務に対して丁寧かつ、誠実に向き合うことで、法令違反となる事例を一切発生させなかった。			
		【改善すべき点・課題等】マニュアルの確認及びアップデート、また教育研修を行うことで職場の環境を整えるとともに風通しのよい職場とすることで、今後も違反の発生しない健全な運営を確保していきたい。			
	区 記入欄	【特記事項】個人情報の取扱いについて、適正に管理できている。研修等を実施し、適切な管理と法令遵守を続けてほしい。			
評 価 委 員 会 記入欄	【評価すべき点】法令等の遵守は適切に実施されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】				

D 適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
	1 適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和6年度収支（7,762千円） ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	3.0	3.0	3.0 (満点5点)
	指定管理者者記入欄 【アピールポイント】昨年度赤字収支となり減点項目としてしまったが、令和6年度は適正かつ確かな人員配置のもと、業務効率を図った施設運営とすることで高い区民サービスの提供を実現し、安定的な経営（収支の黒字化）に繋げることができた。			
	区記入欄 【特記事項】チェック体制が整備されており施設利用・講座等の入出金総受付件数が5千件以上であったのに対しミスは0件であった。引き続き、確認作業を複数で実施し、ミスのないよう管理してほしい。事業の見直しや工夫を行い、中止講座数は改善されている。また昨年度の赤字収支に関して、今年度は収支はプラスであり、改善したと考える。引き続き、適切な施設運営・財政状況を継続してほしい。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】前年度減点事項であったが、収支は改善している。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目
-----	-----	------

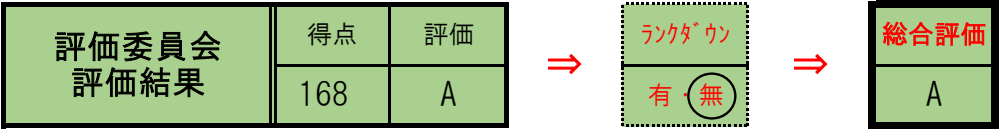
2 事業 効果	A 学習事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか	評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	4.0	19.0 (満点20点)
		2	A型事業（事本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆A型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
指定管理者者記入欄	【アピールポイント】SNSでの情報発信をより多くの方に活用していただくため、Instagramの効果的な活用やキャンペーンの実施により、子育て世代・学生層の利用率を上げるとともに、フォロワー数も大幅に増加させた。新規事業においては8講座を新たに企画し、内1講座は開催を機に団体登録するに至った。既存事業においても受付方法の見直しや、新年度より縮小される委託事業を念頭に継続型事業を設定するなど受け皿を用意し、講座に参加しやすく、かつ続けやすい環境を整えた。アウトリーチ事業も積極的に展開しセンター未利用者の掘り起こしを行う一方、参加者の継続利用を促すステップアップ講座の充実も図り、C型事業では全体でリピーター率7割を超える結果となった。また、Instagram等で居場所としてのセンターを積極的に広報した結果、フリースペースや学習室開放利用者が大幅に増え、ヤング層の取り込みにも繋がった。					
	【改善すべき点・課題等】世代ごとに分けた市場調査により得られた参加傾向や要望の違い等を、利用者の興味・ニーズに合った企画の立案や施設運営に生かしていきたい。また、体験会等の館外事業によって得た相互団体の連携・理解をもとに、利用者の興味を引く独創的な新規事業を展開させるとともに、広報手段についてもSNSなどのデジタル媒体に加え、幅広い層に伝わりやすい様々な方法を講じて情報の拡散を図っていきたい。					
	区記入欄	【特記事項】項目1について、ミニコミ紙の誤植1件あり。二次元バーコード（Instagram等のSNSへ誘導するもの）が不鮮明で読み取れない状態のまま配布した。再発防止策を講じ、その後同様のミスは起きていないが、区民への影響があるため水準点より1点減点する。一方で、子ども向け講座をまとめたチラシを保育園に配布するなど地道な取り組みが利用者の増加につながっている点を評価し、水準点に2点加点する。項目2について、対象者に合わせた時間帯の設定、予定の変わりやすい子育て世代でも申し込みやすくなる当日払いへの変更等の工夫により、利用者数の増加・新規利用者を獲得できている点で水準点に2点加点する。項目3について、映画製作体験講座など独創的な企画を実施し多くの利用者を得た点で水準点に2点加点する。項目4について、開催していた夜間エクササイズ講座にて、アンケートで得たダンス＝踊ることが苦手との声を反映し、プログラムと講座名からダンスを抜き、身体の部位別に強化する内容・名称に変更した。プログラムの見直しなど参加者の意見を取り入れた様々な取り組みがリピーターやステップアップに繋がった点で水準点に2点加点する。				
評価委員記入欄		【評価すべき点】情報発信は効果的な取り組みにより成果をあげている。また、多様な新規講座の実施、既存講座のリニューアル、ステップアップ型事業はいずれも評価できる。既存事業については、講座名の変更により印象を和らげる門戸を広げる策を取るなど、様々な工夫による課題改善に取り組んだ結果、参加者増につなげることができている。施設の窓ガラスに絵を描いてもらうなど、子ども向け体験型講座の企画も面白い。 【改善すべき点】ミニコミ紙の誤植に関して、利用者のSNS閲覧と登録を妨げるミスであり、再発防止策の継続を求める。 【その他注意点】サロン型事業や居場所づくりなどを行っているが、学習室の利用方法についてはもう少し工夫してほしい。				

施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか		評価点			
		指定管理者	担当課	評価委員	
B 学習支援の取り組み	1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充 など	5.0	5.0	15.0 (満点15点)
	2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5.0	5.0	
	3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】サークル体験講座に加え、自由に見学のできるサークル開放日を実施。さらに、他施設の改修工事のため一時的に当施設を利用している団体に、活動の場と共に発表の機会を設けるなど支援体制を充実させた。人材活用については近隣高校のボランティア・サポートチームと連携し、センターとともに何ができるかをテーマにアイデア出しの会議を定期的実施し、子どもと高校生のふれあいを楽しんでいただくイベントを開催するに至った。高校生のアイデアを具現化した企画となり、この事業を通して、地域貢献につながる場を創出することができた。さらには、囲碁将棋ひろばに参加する子どもたちに「ちょいボラ」を提案し、活動の促進となるようアクションを起こしてくれたことに対してポイントを付与。目標が定まり、気軽に継続して参加する子どもが増加するなど、ボランティアを身近に感じられる仕組みを整えることができた。			
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】高齢化・少子化などによるサークル減少が進む中、一般団体への支援および既存団体への細やかなフォローを積極的に行うことによって、活動の継続をサポートするとともに、新規利用団体の誕生にも繋げていきたい。 また、地域の施設や団体と連携することによって、自施設だけではなかなか実現しにくい広がりのある事業を積極的に展開させ、さまざまなジャンルの事業が体験できる環境を整えていきたい。 「ちょいボラ」については「ひろば」参加者だけに留まらず、居場所事業や学童と連携し、活動の幅を広げ、ボランティア活動の活性化を図っていきたい。			
	評価委員記入欄	【特記事項】項目1について、高齢化等の理由で世間的に登録団体が減少傾向にある中で、活動内容のヒアリング後、適切な施設・時間を提案するなどセンターの積極的な支援・調整を実施し、結果として団体数を増加させた点で水準点に2点加点する。項目2について、地域団体との連携により、科学工作やプログラミングなど多様な学習機会を提供した点で水準点に2点加点する。項目3について、子どもを対象にした「ちょいボラ」により、ボランティア活動の一步を踏み出す機会を提供した点で水準点に2点加点する。			
C 図書館事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか	評価点			
		指定管理者	担当課	評価委員	
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5.0	5.0	10.0 (満点10点)
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】図書館の館内配置については、今年度から「りんごの棚」と布絵本の置き場所を集約し、様々な事情から通常の活字本を読むことが難しい児童にとって親しみやすい本を一カ所で採せるような工夫をした。読書推進活動としては、今年度「錬金術師養成講座」と銘打った科学手品体験会を開催し、定員を上回る申込みを得るなど好評を得ることができた。			
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】「錬金術」など単体のイベントでは多くの参加者を得たが、おはなし会の年間参加人数は昨年比減となっているので、より多くの人をおはなし会へ呼び込むための工夫を模索していきたい。			
評価委員記入欄	【特記事項】「りんごの棚」と布絵本を集約して設置することで、「りんごの棚」の設置目的を親子連れなどの幅広い利用者に伝わるように工夫されている。また、「錬金術師養成講座」や「ほつかミニ図書館」などの事業は、子ども同士や親子で一緒に楽しめる企画となっており、リピーターの来館にも繋がるなど、利用促進や読書推進に寄与したと考えられる点が評価できる。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】科学実験を組み合わせる活動は準備に手間がかかるが実現できている。これらの児童対象の科学手品会やミニ図書館は、地味ではあるが、参加者に施設との繋がりを長く持つてもらえる取り組みとなっている。また、他の活動も積極的に行われている。 【改善すべき点】10代への貸し出しの工夫の検討が必要である。 【その他注意点】				

	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
D 利用の 状況	1 学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設44% ＜参考＞学習施設目標値 57.9%（前年度利用率+3%）	5.0	5.0	10.0 (満点10点)
	2 図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（175,704人） ※基準値/153,763人 貸出冊数（205,993冊） ※基準値/199,479冊	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】学習施設についてはニーズに応えた新規講座の実施及びサロン型事業の充実に加えて、アウトリーチによる体験事業や効果的な情報発信により、中止講座を減少させるなど、安定した講座運営とすることができた。さらには団体利用の積極的な支援により施設利用を活性化させることで、昨年比で利用者は5,000人を超え、利用率に関してはほぼすべての貸出し施設及び夜間利用で増加傾向にあり、全体としても3%を超える増加とすることができた。図書館については新しい街づくりが進む当地区において新規利用者を呼び込むことで、昨年度に引き続き利用人数、貸出冊数ともに前年度比増となった。			
	区記入欄 【改善すべき点・課題等】新規利用の獲得及び定着化を図るとともに、利用希望の少ない時間帯及び貸出し施設を有効的に活用することで、施設利用の継続的な活性化に繋げていきたい。図書館については、利用者は年々増加しているものの10代の貸出冊数が少ない（今年度は貸出冊数の約2.5%）状態となっていることから、この層への訴求力を高めていきたい。			
	評価委員記入欄 【特記事項】項目1について、夜間講座の実施やアウトリーチ・広報活動等による施設利用者増加など、様々な取り組みが相乗効果で実を結び、利用率が大きく上昇している点を評価し、水準点に2点加点する。項目2について、利用者前年比増加率及び貸出冊数前年比増加率ともに加点基準を達成したため、水準点に2点加点する。			
E 3分野 連携事業	3分野連携事業を計画通り実施しているか	評価点		
	指定管理者	担当課	評価委員	
	1 3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型発信等）をしているか など	5.0	5.0	5.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】読書から文化へ関心を促す体験として、大学生寄席に合わせて子ども落語体験を新たに実施した。大学生による落語絵本の読み語りやミニ落語家体験に加えて、小学生が大学生と混じって発表を行い、高齢者中心だった寄席に子育て世代を呼び込むことができた。また、文化から読書への関心を促すプログラムでは、工作やマジックを取り入れた新規事業を実施した。さらに、当施設の特性である中庭を活用した初の試みとして、青空おはなし会の中でスポーツ講座を実施し、読書からスポーツへの関心を促した。センター来館者に気軽に参加できる3分野連携事業を知っていただく機会とするとともに、新規事業の充実を図った。近隣施設へのアウトリーチ事業も積極的に実施するとともに、土日祝日に加えて平日の夜間帯での開催を行うことで、新規利用者の掘り起こしにも成功。今後も効果的な開催施設・日時を模索し、多くの方に「知って」・「体験」していただける環境を整えていきたい。			
	区記入欄 【改善すべき点・課題等】施設の特性（中庭や複合施設とのコラボ）を生かした事業展開に加え、3分野連携事業のコンセプトを改めて浸透させ、参加者のニーズにあった講座を実施するなどマンネリ化とまらない新たな取り組みに挑戦することで、参加者の増加に繋げていきたい。			
	評価委員記入欄 【特記事項】大学生との連携による落語体験など、普段体験できないような内容や、読書分野の新規講座を企画し、利用者を獲得している点で水準点に2点加点する。また、施設の中庭を生かした事業については、施設利用者の目にとまり関心を引きやすくなるため、引き続き継続してもらいたい。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】新規講座の企画や大学生と連携した活動は面白い。新規目玉事業の開催により利用者の掘り起こしに成功している。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか (評価点×3)		評価点×3			
		指定管理者	担当課	評価委員	
F 主要事業の企画・実施・成果	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			26.4 (満点30点)
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】主要事業のアプローチとして展開している地域でつくるアートイベント「コラボ展」が参加団体の増加に加えて開催会場を8か所に拡大するなど、地域一体となった事業展開とすることができた。今後は共同で制作する映像作品等にも挑戦し、地域の方々とともに創りあげる「仕掛け」にも取り組んでいきたい。			
		【改善すべき点・課題等】アートに関連する事業を多数実施するとともに、映像制作に関わる団体との連携事業を実施し、プロジェクトに向けた種まきとなる年とすることができた。今後は事業を通して繋がった方々とともに考え、ともに創ることでアートでつながるコミュニティの創出を目指していきたい。			
	区記入欄	【特記事項】5カ年の初年度であり、以前から実施している「色あそびコラボ展」に加え、中庭を利用したアート事業や映像制作の体験など様々なアートに触れる1年となった。今後は、アートで繋がることを目的に、プロジェクト実行委員会の発足や地域を巻き込んでいけるような取り組みを期待する。			
評価委員記入欄	【評価すべき点】初年度から計画通りに事業が展開されている。また、前指定管理期間から実施しているイベントを5カ年計画に上手に取り入れて拡大できている。 【改善すべき点】 【その他注意点】				
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	利用者の満足を得られているか（評価点×2）		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.3 (×2)	33.6 (満点40点)
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など		4.7 (×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙 など		4.1 (×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上 など		3.7	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】日々の業務に真摯かつ丁寧に取り組んだ結果、「感謝の声」を数多く頂戴するなどすべての項目において満足度の高い評価を得ることができた。また、昨年度課題としていたSNSでの情報取得や現役世代の利用者を増加傾向とすることができ、今後もこの流れを継続させていきたい。			
		【改善すべき点・課題等】現状に満足することなくスタッフの接客スキルの研鑽を怠らず、さらには、利用者の方とのコミュニケーションを密に行い、ささいな声にも耳を傾けることで、ニーズに即したサービス提供を実現し、地域の方に愛着を持てただけの施設を目指していきたい。			
区記入欄	【特記事項】アンケートでは、高い利用満足度を維持できており、感謝の声も多い。夏場はフリースペース（共有部分）が寒く感じられる方もいるため、引き続き温度調整等にも気を配っていただきたい。				
評価委員記入欄	【評価すべき点】高い満足度があげられている点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】				
合計点			112.0 (満点130点)	141.6 (満点=170点)	168.0 (満点=200点)
特記事項 (評価委員会による総合評価を記入)	前年度に続き、学習施設、図書館いずれも利用者増加となる運営がなされている。多様な新規講座の開催、既存講座のリニューアル、ステップアップ型の事業、サークル支援のための各種事業、地域団体との連携などの各種取り組みにより、参加者の増加といった成果に結びついている。子ども向け体験型講座や図書事業に科学実験を組み合わせる活動など様々な面白い試みがされている。また、施設管理については、日頃からのイメージトレーニングに重点を置いた危機管理訓練の工夫が高く評価できる。				

【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
2-A項目1における減点事項について、ミニコミ紙の不鮮明で読み取れない二次元バーコード掲載の誤植は、区民への影響が大きく再発防止策の徹底を求める。

＜評価委員会評価基準＞

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」・・・評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。